



## 2025年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年6月7日

上場会社名 株式会社トラス・オン・プロダクト 上場取引所 東  
コード番号 6696 URL <https://www.traas.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤吉 英彦  
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 青柳 貴士（TEL） 045-595-9966  
四半期報告書提出予定日 2024年6月11日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年1月期第1四半期の業績（2024年2月1日～2024年4月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

|               | 売上高 |       | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 四半期純利益 |   |
|---------------|-----|-------|------|---|------|---|--------|---|
|               | 百万円 | %     | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円    | % |
| 2025年1月期第1四半期 | 82  | 9.7   | △8   | — | △8   | — | △9     | — |
| 2024年1月期第1四半期 | 74  | △63.2 | △19  | — | △20  | — | △20    | — |

|               | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
|               | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2025年1月期第1四半期 | △2.05           | —                          |
| 2024年1月期第1四半期 | △4.85           | —                          |

## （2）財政状態

|               | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-----|-----|--------|
|               | 百万円 | 百万円 | %      |
| 2025年1月期第1四半期 | 487 | 398 | 81.4   |
| 2024年1月期      | 513 | 408 | 79.3   |

（参考）自己資本 2025年1月期第1四半期 397百万円 2024年1月期 406百万円

## 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |      |      |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 2024年1月期     | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 |
| 2025年1月期     | —      | —      | —      | —    | —    |
| 2025年1月期(予想) | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年1月期の業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

|    | 売上高 |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 当期純利益 |   | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|-----|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
|    | 百万円 | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円   | % | 円 銭            |
| 通期 | 408 | 31.2 | △11  | — | △11  | — | △15   | — | △3.17          |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は6ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

|                     |            |            |            |            |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年1月期1Q | 4,815,491株 | 2024年1月期   | 4,815,491株 |
| ② 期末自己株式数           | 2025年1月期1Q | 111株       | 2024年1月期   | 111株       |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    | 2025年1月期1Q | 4,815,380株 | 2024年1月期1Q | 4,267,404株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報       | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明           | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明           | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明  | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記         | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表             | 4 |
| (2) 四半期損益計算書             | 5 |
| (第1四半期累計期間)              | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項      | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記)          | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)  | 6 |
| (セグメント情報等)               | 6 |
| (重要な後発事象)                | 7 |
| 3. その他                   | 8 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等         | 8 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復等により景気は緩やかに回復しているものの、地政学的なリスクの高まりによる不安定な国際情勢や資源価格の高騰、円安の進行を背景とした物価上昇等、景気の先行きに関する懸念材料も多く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間においては、過去からのBtoB市場に向けた単なるモノの販売から脱却し、成長方針に掲げるBtoB市場に向けたモノづくりを基盤としたSaaS月額課金型サービスを当社の主力事業とすべく、前事業年度より継続して経営資源をその事業へ集中し事業転換を図っております。

当第1四半期累計期間においては、TRaaS事業では、流通小売店舗を対象としたDX店舗活性プロダクト「店舗の星」やAIによる電力削減ソリューション「AIrux8」のSaaS月額課金型ビジネスを中心として、戦略販売パートナーと共に積極的に事業を推進してまいりました。受注型Product事業では、STB案件の受注が堅調に推移すると共に、テクニカルサービス事業においても、システム開発案件の受注が堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は82,120千円(前年同期比9.7%増)、営業損失は8,522千円(前年同期は19,095千円の損失)、経常損失は8,402千円(前年同期は20,827千円の損失)、四半期純損失は9,874千円(前年同期は20,700千円の損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (TRaaS事業)

TRaaS事業の当第1四半期累計期間におきましては、AI電力削減ソリューション「AIrux8」について、日本市場に向けた拡販を進めるべく、積極的に戦略販売パートナーの拡大を目指してまいりました。2024年4月には丸紅情報システムズ株式会社様及び加賀FEI株式会社様へ「AIrux8」提供を開始したことに加え、「AIrux8」の技術が日本で特許として登録されたことで、これら戦略販売パートナーの販売活動を含め、お客様に対する一層の信頼感が得られることに繋がるものと考えております。現在、多くのエンドユーザーとの「AIrux8」の商談が進行しておりますが、その消費電力削減効果及び機能性を十分に確認いただき、戦略販売パートナーとの提携を強化しながら、その販売をさらに加速させてまいります。また、流通小売店舗を対象としたDX店舗活性プロダクト「店舗の星」については、当第1四半期累計期間において、海外大手小売企業の3店舗へ導入が決定いたしました。当社は、「店舗の星」システムにおける最もプライオリティの高い開発テーマに「お客様評価点数による販売効果の可視化」、「最終消費者であるお客様の店舗でのお買い物の楽しさの追及」を掲げ、流通小売店舗を活性化させるDX端末として、そのOMO施策としての活用や最終的にはAIによるお客様の行動解析も行うことができるものに進化させ、戦略販売パートナーと共に、その販売拡大を目指してまいります。

これらの「AIrux8」及び「店舗の星」を中心としたSaaS月額課金型ビジネスへの事業モデル転換には一定の時間は必要と認識しており今後着実に進行を進めていく予定となりますが、前年同四半期の3月末まで美容サロンサイネージ提供をしていたことから、売上高は反動減となりました。

以上の結果、売上高は16,505千円(前年同期比45.1%減)、セグメント利益は12,926千円(同29.9%減)となりました。

#### (受注型Product事業)

受注型Product事業の当第1四半期累計期間におきましては、主に既存顧客からのSTB案件の受注増に加え、Cygnus2の引き合いも増加し、堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は26,203千円(前年同期比21.6%増)、セグメント利益は20,076千円(同17.5%増)となりました。

#### (テクニカルサービス事業)

テクニカルサービス事業の当第1四半期累計期間におきましては、システム開発案件の受注増に伴い、一部のエンジニア派遣人員を当社案件に従事させることといたしました。売上高は大きく増加いたしました。

以上の結果、売上高は39,411千円(前年同期比69.6%増)、セグメント利益は17,884千円(同175.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ25,694千円減少し、487,648千円となりました。これは主に、前払費用が12,032千円、有形固定資産が1,057千円、無形固定資産が7,973千円増加した一方で、現金及び預金が6,758千円、受取手形、売掛金及び契約資産が38,566千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ15,819千円減少し、89,411千円となりました。これは主に、買掛金が16,690千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ9,874千円減少し、398,237千円となりました。これは主に、利益剰余金が9,874千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年3月13日付で公表しました業績予想からの変更はありません。なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

|                | 前事業年度<br>(2024年1月31日) | 当第1四半期会計期間<br>(2024年4月30日) |
|----------------|-----------------------|----------------------------|
| <b>資産の部</b>    |                       |                            |
| 流動資産           |                       |                            |
| 現金及び預金         | 330,096               | 323,338                    |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 89,963                | 51,397                     |
| 商品及び製品         | 26,837                | 24,315                     |
| 原材料及び貯蔵品       | 51                    | 37                         |
| その他            | 5,539                 | 18,942                     |
| 貸倒引当金          | △1                    | △1                         |
| 流動資産合計         | 452,487               | 418,030                    |
| 固定資産           |                       |                            |
| 有形固定資産         | 18,184                | 19,241                     |
| 無形固定資産         | 36,672                | 44,645                     |
| 投資その他の資産       |                       |                            |
| 差入保証金          | 4,719                 | 4,644                      |
| その他            | 1,278                 | 1,086                      |
| 投資その他の資産合計     | 5,997                 | 5,730                      |
| 固定資産合計         | 60,854                | 69,617                     |
| 資産合計           | 513,342               | 487,648                    |
| <b>負債の部</b>    |                       |                            |
| 流動負債           |                       |                            |
| 買掛金            | 19,179                | 2,489                      |
| 未払法人税等         | 4,448                 | 1,825                      |
| 賞与引当金          | 6,639                 | 3,442                      |
| その他            | 14,963                | 21,653                     |
| 流動負債合計         | 45,230                | 29,411                     |
| 固定負債           |                       |                            |
| 長期借入金          | 60,000                | 60,000                     |
| 固定負債合計         | 60,000                | 60,000                     |
| 負債合計           | 105,230               | 89,411                     |
| <b>純資産の部</b>   |                       |                            |
| 株主資本           |                       |                            |
| 資本金            | 593,175               | 593,175                    |
| 資本剰余金          | 538,801               | 538,801                    |
| 利益剰余金          | △724,835              | △734,709                   |
| 自己株式           | △246                  | △246                       |
| 株主資本合計         | 406,895               | 397,020                    |
| 新株予約権          | 1,216                 | 1,216                      |
| 純資産合計          | 408,111               | 398,237                    |
| 負債純資産合計        | 513,342               | 487,648                    |

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

|              | 前第1四半期累計期間<br>(自 2023年2月1日<br>至 2023年4月30日) | 当第1四半期累計期間<br>(自 2024年2月1日<br>至 2024年4月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高          | 74,839                                      | 82,120                                      |
| 売上原価         | 32,834                                      | 31,232                                      |
| 売上総利益        | 42,004                                      | 50,887                                      |
| 販売費及び一般管理費   | 61,100                                      | 59,410                                      |
| 営業損失(△)      | △19,095                                     | △8,522                                      |
| 営業外収益        |   |   |
| 受取利息         | 29  | 2   |
| 為替差益         | 117   | 119   |
| 消費税差額        | 207   | 10  |
| その他          | —   | 8   |
| 営業外収益合計      | 354   | 141   |
| 営業外費用        |   |   |
| 支払利息         | 6   | 21  |
| 新株予約権発行費     | 1,500                                       | —   |
| 社債発行費償却      | 580   | —   |
| 営業外費用合計      | 2,086                                       | 21  |
| 経常損失(△)      | △20,827                                     | △8,402                                      |
| 特別利益         |   |   |
| 新株予約権戻入益     | 203   | —   |
| 特別利益合計       | 203   | —   |
| 税引前四半期純損失(△) | △20,624                                     | △8,402                                      |
| 法人税等         | 76  | 1,471                                       |
| 四半期純損失(△)    | △20,700                                     | △9,874                                      |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                   | 報告セグメント |              |             | 合計(注)  |
|-------------------|---------|--------------|-------------|--------|
|                   | TRaaS事業 | 受注型Product事業 | テクニカルサービス事業 |        |
| 売上高               |         |              |             |        |
| 外部顧客への売上高         | 30,052  | 21,554       | 23,231      | 74,839 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | —       | —            | —           | —      |
| 計                 | 30,052  | 21,554       | 23,231      | 74,839 |
| セグメント利益           | 18,429  | 17,085       | 6,489       | 42,004 |

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                   | 報告セグメント |              |             | 合計(注)  |
|-------------------|---------|--------------|-------------|--------|
|                   | TRaaS事業 | 受注型Product事業 | テクニカルサービス事業 |        |
| 売上高               |         |              |             |        |
| 外部顧客への売上高         | 16,505  | 26,203       | 39,411      | 82,120 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | —       | —            | —           | —      |
| 計                 | 16,505  | 26,203       | 39,411      | 82,120 |
| セグメント利益           | 12,926  | 20,076       | 17,884      | 50,887 |

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。



## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前事業年度より、従来の「ターミナルソリューション事業」の単一セグメントから「TRaaS事業」「受注型Product事業」「テクニカルサービス事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

そのため、前第1四半期累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当第1四半期累計期間において営業損失8,522千円、経常損失8,402千円及び四半期純損失9,874千円を計上し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在していると認識しております。

当社では当該状況を速やかに解消するため、過去からのBtoB市場に向けた単なるモノの販売から脱却し、成長方針に掲げるBtoB市場に向けたモノづくりを基盤としたSaaS月額課金型サービスを当社の主力事業とすべく、経営資源をその事業へ集中し事業転換を図っております。そのような中、新ビジネスである流通小売店舗を対象としたDX店舗活性プロダクト「店舗の星」やAIによる電力削減ソリューション「AIrux8」のSaaS月額課金型ビジネスの引き合いが増加しており、新しい事業の柱として育って来ていることから、そこから創出される新たな売上の拡大と利益の積み上げを推進してまいります。また、既存事業として進めてきた受注型Product事業やテクニカルサービス事業においても安定した収益を確保しており、引き続き業務効率改善による経費の見直しと経費圧縮も実施することとでキャッシュ・フローの最大化に努めてまいります。

また、財務面におきましては、当第1四半期会計期間末現在において、323,338千円の現金及び預金を保有しており、当第1四半期会計期間末の翌日から12ヶ月間の資金繰りを考慮した結果、当面の事業資金を確保していることから当社の資金繰りに重要な懸念はありません。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。